

第31回 奈良県老人福祉施設職員研究会議 開催要綱

『我が事・丸ごと 地域共生社会実現を目指して』

～魅力ある我々が、今こそ底力を見せるとき！～

主催：奈良県老人福祉施設協議会/後援(予定) 奈良県 奈良県社会福祉協議会

1. 開催趣旨 平成30年度介護報酬改定により、地域包括ケアの深化や自立支援、重度化防止、介護離職ゼロの取り組みが進められる中、介護人材不足等の対応や、日頃から質の高いサービス供給に努め、地域にとって欠かすことのできない施設・事業所であり続けなければなりません。
- そのためには、利用者・家族・地域に根差した、複雑多様化するニーズに答え得る施設・事業所としての役割を果たすために、現場の力・現場の声を基に、共に学び・考え・行動する必要があります。本研究会議を私たちの役割を再構築する機会にしたいと考えます。
- (参加対象：奈良県内外老人福祉関係者・学生等)

2. 日時・会場 平成30年 **11月5日(月)** ホテル日航奈良

タイムスケジュール

- 9:30～10:00 受付
- 10:00～10:30 開会式、会長挨拶、感謝状授与
- 10:35～12:05 **記念講演** 「人と人とをつなぐ、思いの伝え方」
株式会社日本旅行西日本営業本部担当部長/
株式会社日本旅行西日本『おもしろ旅企画 ヒラタ屋』代表/
ナニワのカリスマ添乗員 **平田進也氏**
- 12:05～12:10 オリエンテーション
- 12:10～13:30 昼食休憩(移動)
- 13:30～17:10 研究分科会(※5研究分科会開催。発表数により時間の前後あり)
- ・挨拶(13:30～13:35)
 - ・発表①(13:35～13:55)
 - ・発表②(13:55～14:15)
 - ・休憩(14:15～14:30)
 - ・発表③(14:30～14:50)
 - ・発表④(14:50～15:10)
 - ・休憩(15:10～15:25)
 - ・発表⑤(15:25～15:45)
 - ・発表⑥(15:45～16:05)
 - ・助言者講演・総括・演習等(16:05～17:05)
 - ・閉会式(17:05～17:10)
- 17:10～18:00 休憩
- 18:00～20:00 情報交換会 ※申込者のみの参加

記念講演講師プロフィール

株式会社日本旅行西日本営業本部担当部長／

株式会社日本旅行西日本『おもしろ旅企画 ヒラタ屋』代表／

ナニワのカリスマ添乗員 **平田 進也 氏**



昭和32年5月31日 奈良県生まれ《血液型》AB型《趣味》テレビ出演、料理

昭和55年 京都外国語大学卒業

同年 株式会社 日本旅行 入社

現在 西日本営業本部 個人旅行営業部 担当部長

兼 営業企画本部 地方創生推進本部 担当部長

兼 『おもしろ旅企画ヒラタ屋』代表

大学時代からTV番組『ラブアタック』の、名物みじめアタッカーとして活躍、就職後もその奇抜キャラクターを生かして、『合コン新宿・解放区』『おはよう朝日です』『探偵ナイトスクープ』などTV出演600回を超える。添乗員としても、豊富な経験と巧みな話術を生かし、『平田進也と行くツアー』には申し込みが殺到するほどの幅広いファン層を持ち『ナニワのカリスマ添乗員』とも言われている。お客様からの希望で平田進也 旅行クラブ『進子ちゃん倶楽部』も誕生し、22,000名を超える会員を数える。2009年11月に平田を中心とした新セクション『おもしろ旅企画ヒラタ屋』を立ち上げ、社内の個性派メンバーを集め、新たなユニットを旗揚げし代表を務める。2013年より関西のラジオ局で冠番組のパーソナリティを務める。

3. 研究分科会一覧 分科会受付後の別分科会への入退は自由です。
(発表順不同) 別分科会へ移動される参加者は、入室の際に分科会受付にて名札をご提示ください。

第1分科会 「個別ケアの取り組み(伴走型自立ケアに向けた取り組みなど)」

趣旨 介護保険制度の理念である「自立支援」の本質が問われる今、我々は単に要介護度やADLのみに捉われない利用者一人ひとりの望む生き方に寄り添う伴走型介護を進めていかななくてはなりません。

利用者の個性を出来る限り尊重し、利用者の伴走者となり、利用者一人ひとりの願う「自立」の実現のため職員はどう取り組んでいくべきか。

本分科会では各施設の事例発表会を通じて様々な取り組みについて共有する機会とします。

座長 特別養護老人ホーム郁徳苑 施設長 福井 勇人

助言者 関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 谷口 泰司氏

発表タイトル・発表者

- ①「生活歴を活かす具体的な取り組みによる効果検証」
グルーホームむつみあい 榎田 智広氏
- ②「入居者様の想いを大切にす為～安全管理を入居者様の目線から考える～」
特別養護老人ホームゆあほうむ様原 松林 宏和氏
- ③「聴覚・言語・視覚障がいのある方への関わり
～Kさんの想いである 信仰のある生活を職員みんなで支えるケア～」
養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 山崎 陽子氏、吉田 ゆか氏
- ④「日々の生活に活気を！」
特別養護老人ホームぼれぼれケアセンター白檀 森川 富美子氏
- ⑤「[「お家に帰りたい」の想いに応える
～入居者の想いにNoとは言わない決意 施設はどこまでそれを実現できるか～」
特別養護老人ホームおきな の 杜 辻内 佑介氏

第2分科会 「個別ケアの取り組み（多職種連携と個別ケアシステムの構築など）」

趣旨 高齢者人口がますます増加の一途を辿っている現在、医療・介護・障害福祉に携わる多職種が綿密な連絡体制をとり、適切かつシームレスな医療・介護・障害サービスを提供することによって、地域の高齢者を支援していくことが、何よりも重要となっています。そこで各事業所が行っている取り組みを共有できる機会になればと期待しています。

座長 特別養護老人ホーム大和園平和 施設部部長 米田 鋭一 氏

助言者 調整中

発表タイトル・発表者

①「入院状況からみる重度化への対応～多職種連携による誤嚥対策～」

特別養護老人ホームまきの苑 乾 均 氏

②「生活の場である特養でのリハビリを2つの視点から考える～特養だからできるリハビリの形を求めて～」

特別養護老人ホームゆあほうむ 榛原 木下 陽介 氏

磯貝 句美子 氏

③「私の居場所はどこ？～穏やかに過ごせる環境作り～」

特別養護老人ホーム和里（にこり） 崎山 良子 氏

④「ターミナルケア その未来～自宅と施設を結ぶ架け橋として～」

特別養護老人ホーム水がたり 木村 竜也 氏

⑤「食」における多職種協働での取り組み」

特別養護老人ホームならやま園 東 久代 氏

⑥「シーティングによる安楽な生活への取り組み」

特別養護老人ホーム延寿 星本 章雄 氏

小松 圭一 氏

第3分科会 「在宅生活を支える取り組み」

趣旨 高齢化が急速に進展する中、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続ける為に、医療・介護・介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に提供される地域包括システムが求められています。

本分科会では、6つの貴重な事例発表を通して高齢者自身が出来るだけ長く、出来るだけそれぞれが望む居場所において上手く機能性と自立（自律）性を保っていくことの重要性について学びわかち合える機会とします。

座長 老人総合福祉施設あくなみ苑 施設長 田中 将史 氏

助言者 大分大学福祉健康科学部 学部長 衣笠 一茂 氏

発表タイトル・発表者

①「リハビリ栄養の取り組み～インボディを使った身体評価～」

通所介護事業所音和舎善 大西 繁 氏

②「早く家に帰りたい」～利用者のニーズに応えるチームケアの実践～」

特別養護老人ホーム梅花苑 前井 直之 氏

橋口 博美 氏

③「特養併設デイサービスが行う要支援の方への支援」

サンタ・マリアデイサービスセンター 木村 太志 氏

④「地域から施設に 施設から地域に」

特別養護老人ホーム美吉野園老人寮 今西 岳人 氏

⑤「サービス付き高齢者向け住宅を通して考える住宅生活・地域連携の仕組み」

社会福祉法人福寿会サービス付き高齢者住宅ヴィラ秋篠 今井 豊 氏

⑥「私たちも地域住民の1人として～余生を100%楽しむために～」

軽費老人ホーム祥水園 小松 多恵子 氏

第4分科会「チャレンジ!!～私たちが取り組んでいること～(介護ロボット導入と人材確保・育成)」

趣旨 超高齢社会を支える介護人材の不足が深刻さを増すなか、既存のやり方では利用者様への安定した介護サービスを提供する事が困難になっております。その事は、現場で働く介護スタッフへの心身負担増大にもつながっており、'元気がない'事業所も増えている中、介護ロボット活用や外国人介護スタッフ登用等、これからの時代に向けた新しい介護環境のあり方が求められています。

本分科会では、「チャレンジ!!」と題して、活気あふれる発表者の各事業所での介護人材不足改善にむけた挑戦やおもいに触れて頂いたあと、グループに分かれて意見交換を行い、参加された方それぞれのより良い介護環境のあり方について考えます。

座長 ケアハウスやすらぎ 施設長 樋口 雅史

演習 当該分科会では、6つの貴重な実践報告後、参加者間で各発表テーマを基にしたグループディスカッションを行って頂き、参加者それぞれのより良い介護環境を考える事を目的としています。よって、今回助言者はもうけず、座長が司会進行、他委員がファシリテーター役となり、「グループディスカッション」「グループ毎の発表」「まとめ」の順に進めていきます。

発表タイトル・発表者

①「介護ロボット導入、活用について」

特別養護老人ホーム都祁すずらん苑 稲田 正幸氏
西窪 真実氏

②「腰痛予防の取り組みについて～介護ロボットを有効活用し、自分の身体を守ろう!!～」

特別養護老人ホーム大和園 杉本 麻衣氏
西出 遥氏

③「共感的理解を目指したスーパーバイズによる人“財”育成への取り組みと効果」

特別養護老人ホームゆあほうむ榊原 泉岡 虎夫氏

④「チャレンジ!介護職員の人材確保策～西窪の出来ることは、全てやってみる。～」

養護老人ホーム和楽園 西窪 耕介氏

⑤「EPA介護福祉士・候補者の現状と今後の課題～来るべき2025年に備えて～」

特別養護老人ホーム光明園 鳥越 信孝氏

⑥「職員教育と働きやすい環境作りから気づいた課題改革」

特別養護老人ホーム郁慈苑 西川 博紀氏

第5分科会「チャレンジ!!～私たちが取り組んでいること～(サービス向上に資するケアの実践)」

趣旨 要介護者も増大する超高齢社会では、認知症高齢者や医療依存度の高い高齢者など、その対応はますます複雑化・重度化し平穏な日常を維持することに大変苦慮されていることでしょうか。その様な中、様々なプロジェクトに挑戦し高齢者介護の原点である QOL の向上に取り組まれている実践について発表頂き、意見交換をすることにより参加施設の今後の取り組みへのヒントや学びの場となり、更なるチャレンジへの契機となる機会とします。

座長 特別養護老人ホーム延寿 施設長 井上 太

助言者 小山田特別養護老人ホーム 施設長 近藤 辰比古氏

発表タイトル・発表者

①「自立排泄に向けて～いつまでも気持ち良く排泄する為に～」

大宇陀特別養護老人ホームラガール 廣瀬 晴香氏

②「当施設における「伴走型介護の視点に立ったケアプラン作成の取り組み」

特別養護老人ホームゆあほうむ榊原 桐野 孝弘氏

③「特別養護老人ホームにおける音楽療法の取り組みについて」

社会福祉法人総合施設美吉野園 岡部 真由美氏

④「看護師のユニット配属により、支援職と共に取り組み生活者の暮らしの向上が見られた」

特別養護老人ホーム和里(にこり) 内田 智子氏

⑤「地域の中で楽しくいきいきと生活するために～当施設での行事運営と地域とのつながり～」

特別養護老人ホームあじさい園 宝 平瀬 雅樹氏

⑥「職員不足からくるマンネリ化した排泄介助の見直し～排泄支援の見直しによる、利用者との変化～」

老人総合福祉施設あくなみ苑 松本 直大氏

4. 研究会議参加費

奈良県老人福祉施設協議会会員	4,000円	奈良県老人福祉施設協議会会員外	4,500円	学生	1,500円
----------------	--------	-----------------	--------	----	--------

※参加費には昼食代を含んでいます。

5. 情報交換会参加費 8,000円

6. 宿泊費

シングル	15,000円	ツイン	13,000円	トリプル	13,000円
------	---------	-----	---------	------	---------

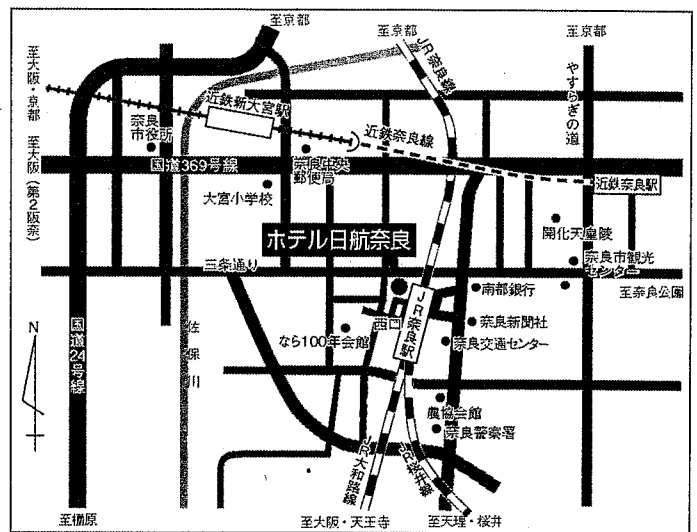
7. 会場地図

ホテル日航奈良

奈良市三条本町8-1

電話：0742-35-8831 (代表)

FAX：0742-35-6868 (専用)



8. 参加申込方法

参加申込書に必要事項をご記入いただき、参加費用合計金額を指定口座にお振り込みの上、申込書を下記送付先にFAXにて送付願います。

申込締切後、参加券を送付いたしますので、会議当日必ずご持参下さい。

①参加費用振込先

南都銀行	本店営業部	普通預金	No. 1022307	口座名義	奈良交通株式会社
------	-------	------	-------------	------	----------

※振込依頼者欄に「特別養護老人ホーム」「社会福祉法人」等からご記入いただいた場合、入金確認が困難になるおそれがありますので、ご入金の際、施設名が特定できるようご配慮いただければ幸いです。

※振込手数料は貴会にてご負担をお願いいたします。

②参加申込書送付先 奈良交通株式会社 本社旅行センター (担当：財部)

〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1-25

TEL. 0742-24-1280 FAX. 0742-27-2219

③参加申込締切 平成30年 10月24日(水)

※なお、申込の取消による参加費の返金は、平成30年10月29日(月)までにご連絡いただいた場合に限り承ります。それ以降は返金できませんのでご注意ください。(後日資料を送付させていただきます。)

会議内容に関するお問い合わせ先

奈良県老人福祉施設協議会事務局 (担当：坂本・西本)

〒634-0061 橿原市大久保町320番11 奈良県社会福祉協議会内

TEL. 0744-29-0100 FAX. 0744-29-0108 E-mail: shisetsu@nara-shakyo.jp

第31回 奈良県老人福祉施設職員研究会議 参加申込書 <新規・変更・追加・取消>

FAX送付先 0742-27-2219

※必ず控え(コピー)をお残してください。 [申込日 月 日]

※申込締切日

10月24日(水)

府県	種別	特養・養護・軽費・ケアハウス	フリガナ	フリガナ	受付NO
所属(勤務)先 (施設名)	フリガナ	フリガナ	お申込担当者	お申込担当者	[担当者捺印欄]
フリガナ	フリガナ	フリガナ	部署名	部署名	受付日
所属(勤務)先住所 (郵便物送付先)	フリガナ	フリガナ	TEL () ()	TEL () ()	
	フリガナ	フリガナ	FAX () ()	FAX () ()	

※上記は当社使用欄です

No.	フリガナ 氏名	性別 男・女	役職・ 職種名	①参加費	②情報 交換会 8,000円	分科会参加希望 1~5の中から希望の 分科会をお選びください		③宿泊希望 (1泊朝食付き)			同室希望者	合計金額 ①+②+③
						第1希望	第2希望	3名/1室 (13,000円)	2名/1室 (13,000円)	1名/1室 (15,000円)		
例	ナ、ラ、タ 奈良太郎	男	施設長	4,000円	○	1	5		○		大和 次郎	25,000 円
1				円								円
2				円								円
3				円								円
4				円								円
〈備考〉											総合計金額	円

※参加取消時のご返金先を記入ください。 ※振込手数料は、差し引いてご返金致します。

銀行名	銀行	本店
	金庫	支店
	組合	出張所
普通	当座	口座番号
フリガナ		
口座名義		

費用払込先(振込)口座のご案内

銀行名 : 南都銀行 本店営業部
 振込口座 : 普通預金 1022307
 口座名義 : 奈良交通株式会社

***振込期限 10月24日(水)**

【申込書送付先及びお問い合わせ先】

奈良交通株式会社
 観光事業部 本社旅行センター
 〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1番25号

TEL: 0742-24-1280 FAX: 0742-27-2219
 営業時間: 月~金 9:00~18:00 (土日祝は休業)

※1) 申込書欄が不足の場合はこの申込書をコピーしてご利用ください。 ※2) 当社はこの申込書の個人情報について、本研修会以外の目的に使用することはありません。